

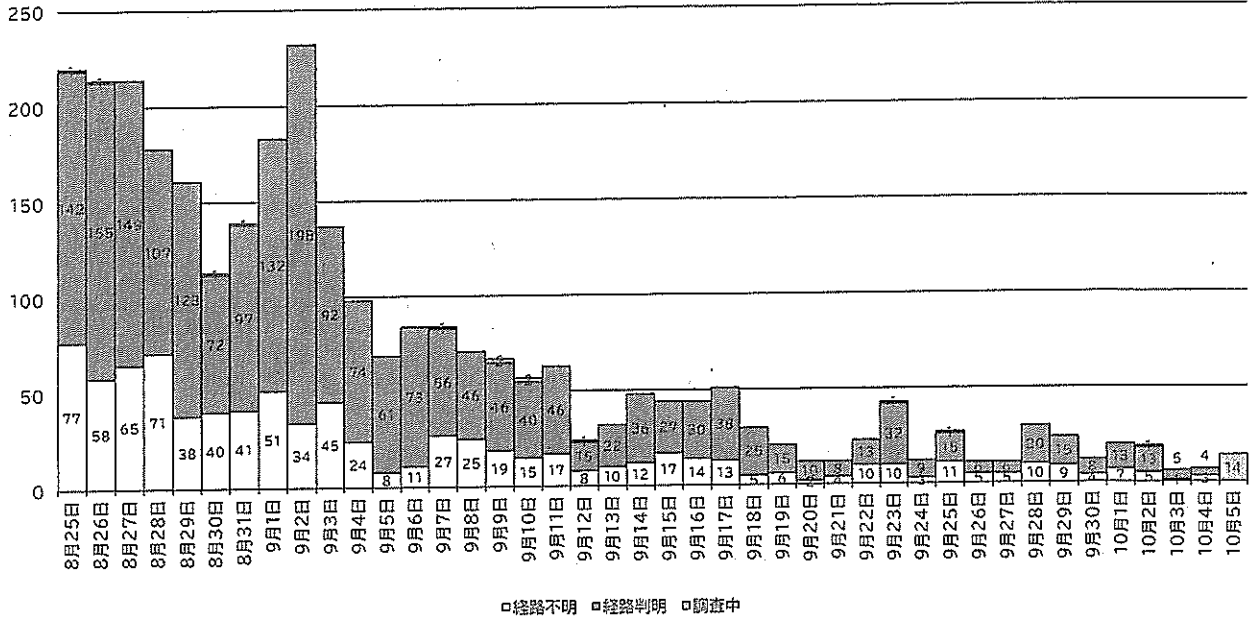
行財政・新型コロナウイルス感染症等
危機管理対策特別委員会 資料1-1
令和3年(2021年)10月6日
健康医療福祉部

新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

県内の感染動向について(10/5現在)

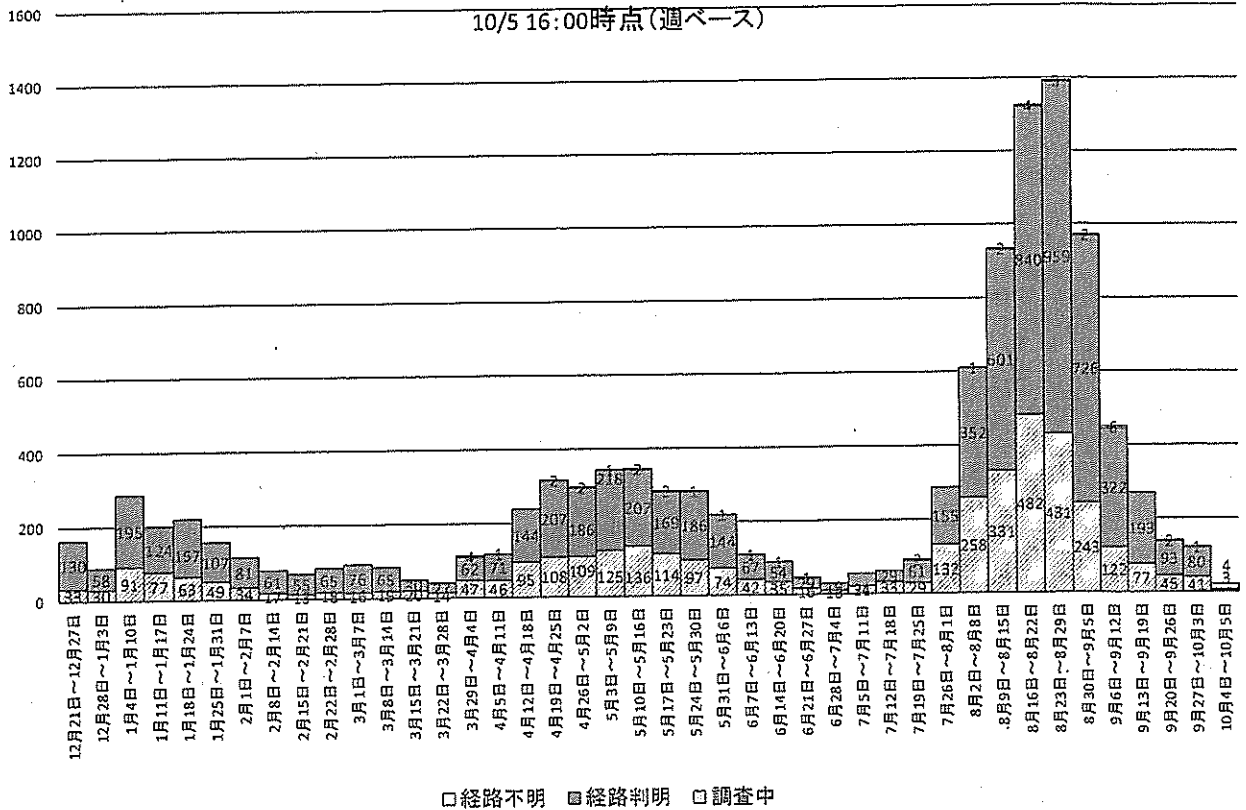
1)①流行曲線(公表日別)

新型コロナウイルス感染の流行曲線(公表日別)
10/5 16:00 現在



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

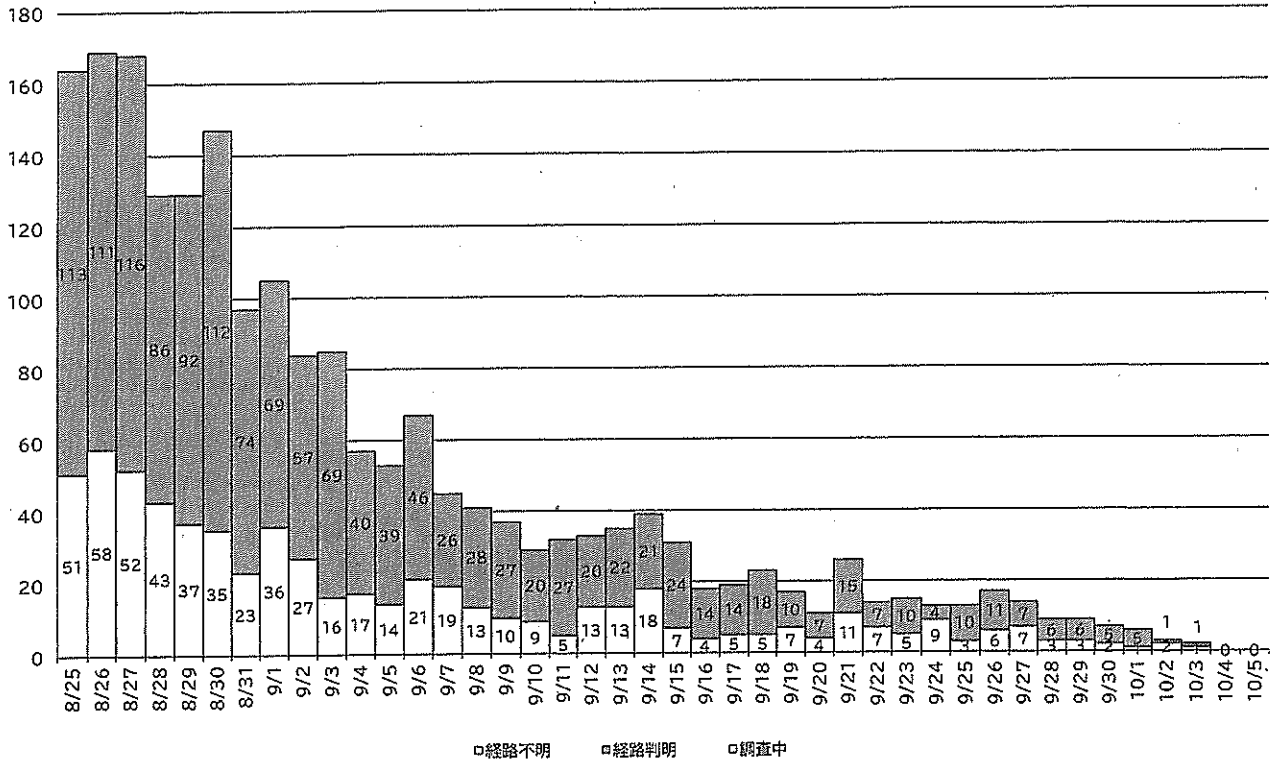
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(公表日別)
10/5 16:00時点(週ベース)



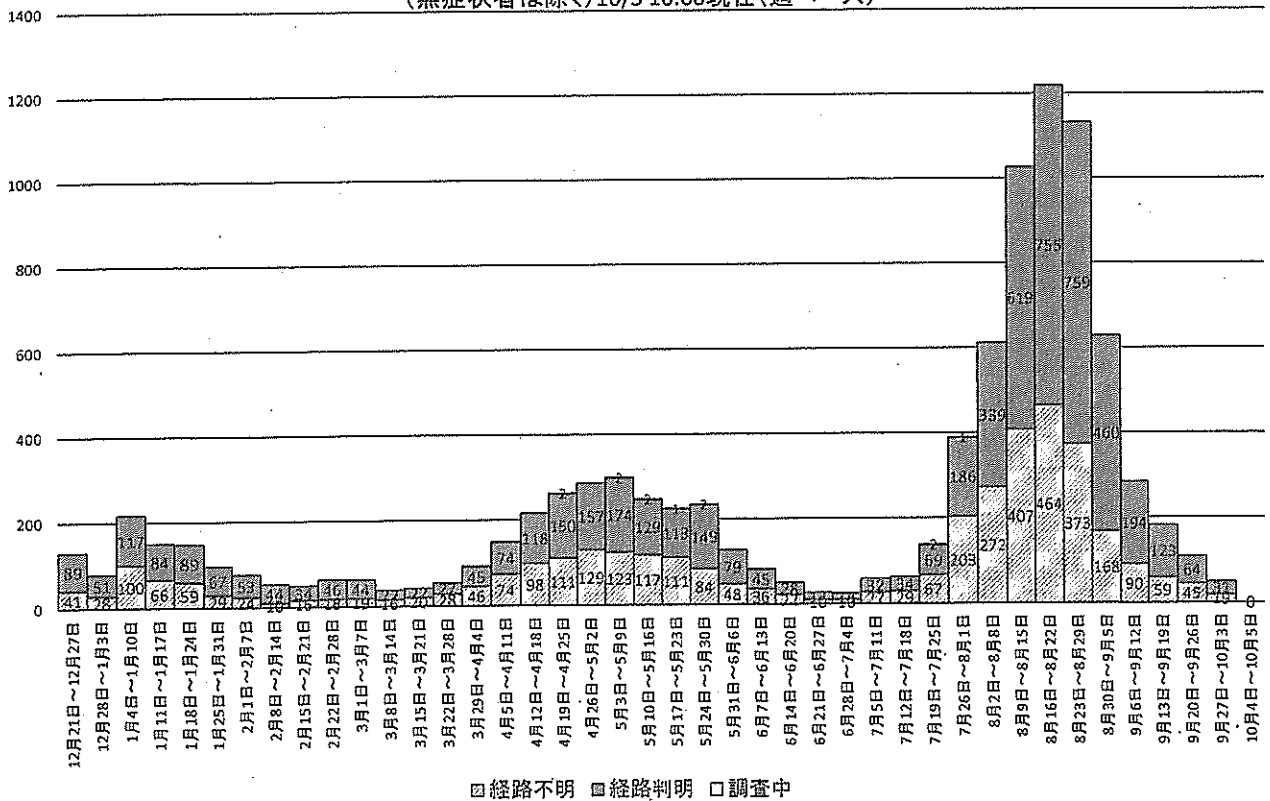
流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)

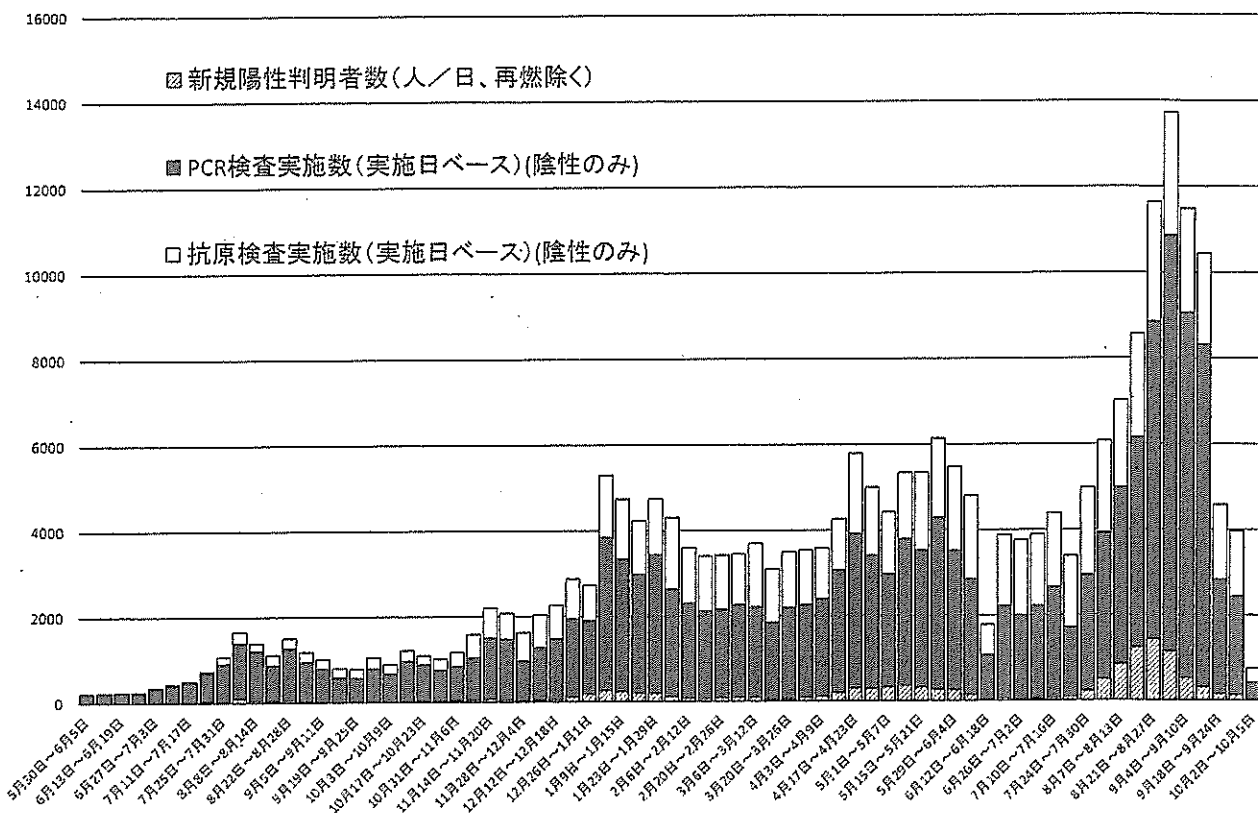
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く) 10/5 16:00 現在



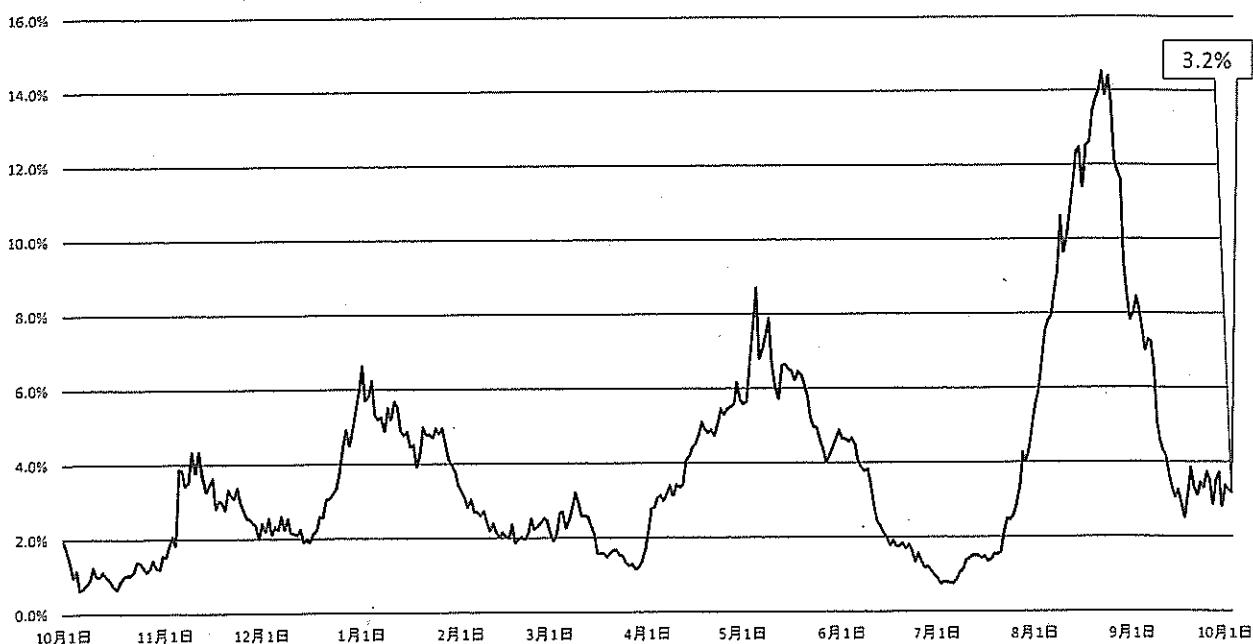
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く) 10/5 16:00 現在(週ベース)



2)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)

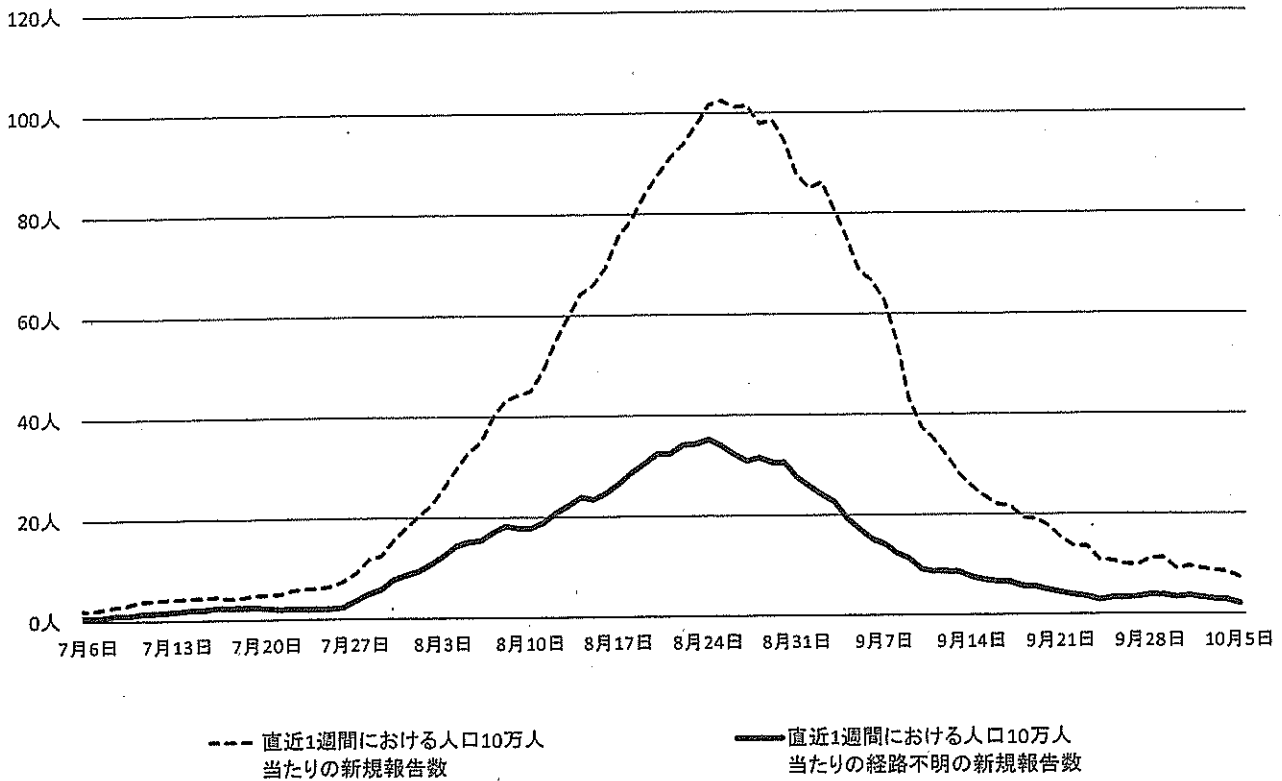


3)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均(その日までの7日間の平均)を見ると、10月3日現在の陽性率は3.2%でした。

4) 経路不明の新規報告者数の推移



5) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数	入院者数				県内 宿泊療養 施設数	療養者数				
		入院者数	空床数		療養者数		療養者数		退院等	空数	
			県内発生	その他			県内発生	その他			
総数	423	100	90	10	323	677	36	36	0	172	469

6) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数	入院中						入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡	
			入院中	重症			中等症						軽症
				重症	中等症	軽症							
PCR検査数 (うち行政検査分 (うちその他検査分	173,208 68,277 104,931)	162	90	1	14	75	36	36	12,041	102			
(うちPCR検査判明分 (うち抗原検査判明分	8,907 3,398)												
抗原検査数	79,277						(うち自宅待機 (うち自宅療養	18) 18)					

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

7) その他県内の感染状況

①病床のひびき割合	最大確保病床の占有率※1	23.6%	②人口10万人当たりの全療養者数	12.2人
	うち重症者用病床の最大確保病床の占有率※2	1.9%	③直近1週間のPCR等陽性率※3	3.2%
			④直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数	7.2人
	【入院率】(現在の陽性者累計に占める入院者の割合)※5	55.6%(参考値)	⑤直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較※4	少ない
			⑥直近1週間における感染経路不明割合	28.4%

※1 最大確保病床の数(423床)に対する割合

※2 最大確保病床の数(52床)に対する割合

※3 検査実施日ごとの件数(抗原検査を含む)に基づく陽性率

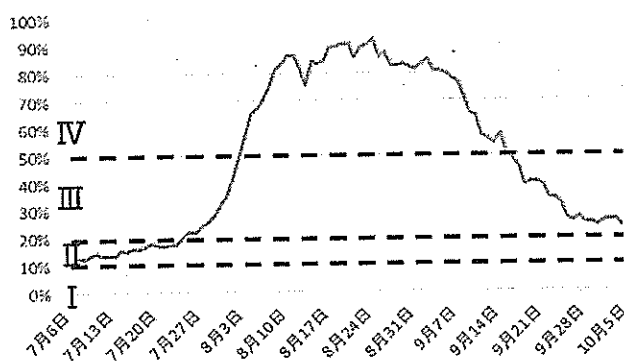
※4 直近1週間の陽性者数が先週と比較して多いか少ないか記載

※5 入院が必要な新規患者は発生届が届け出られた翌日までに入院できている等、入院率を適用する条件に当てはまらないため、参考値として記載

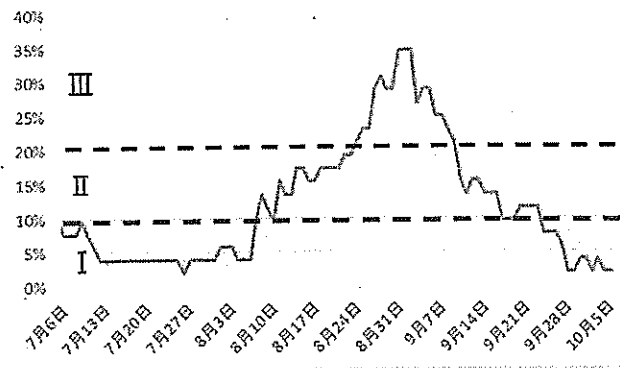
重症者数	重症者以外のICU(集中治療室)利用者数	重症者用病床の現時点の確保病床数	新規感染経路不明者(直近1週間分)	PCR等検査数(直近1週間分)
1人	0人	52床	29人	3,826件

8) その他の県内の感染動向

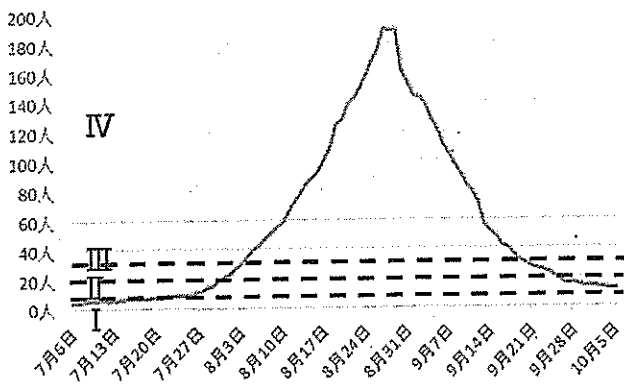
最大確保病床の占有率



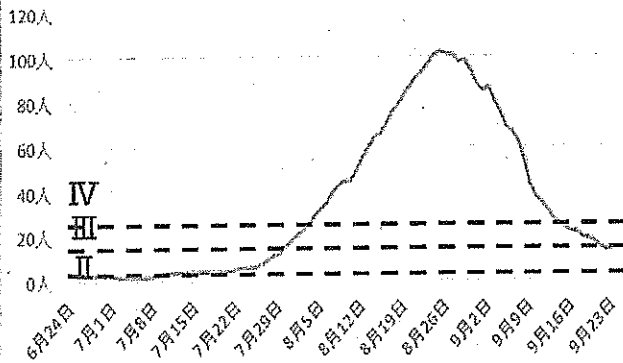
重症者用病床の最大確保病床の占有率



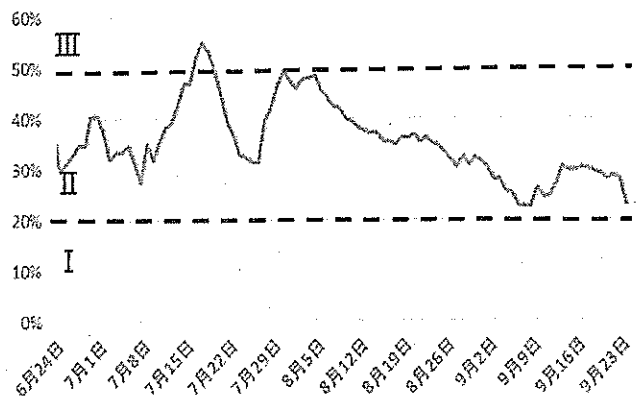
人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



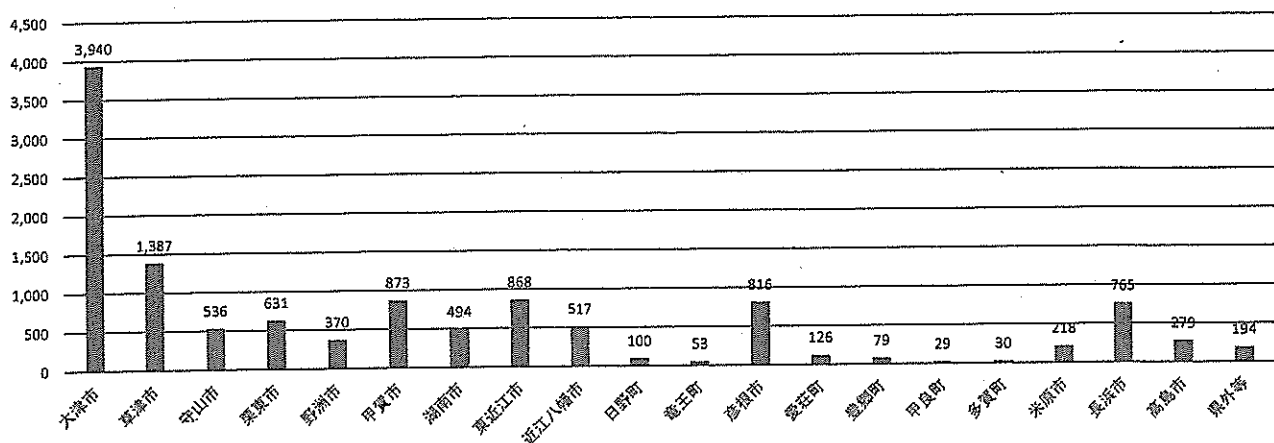
感染経路不明割合



9)性別陽性者数

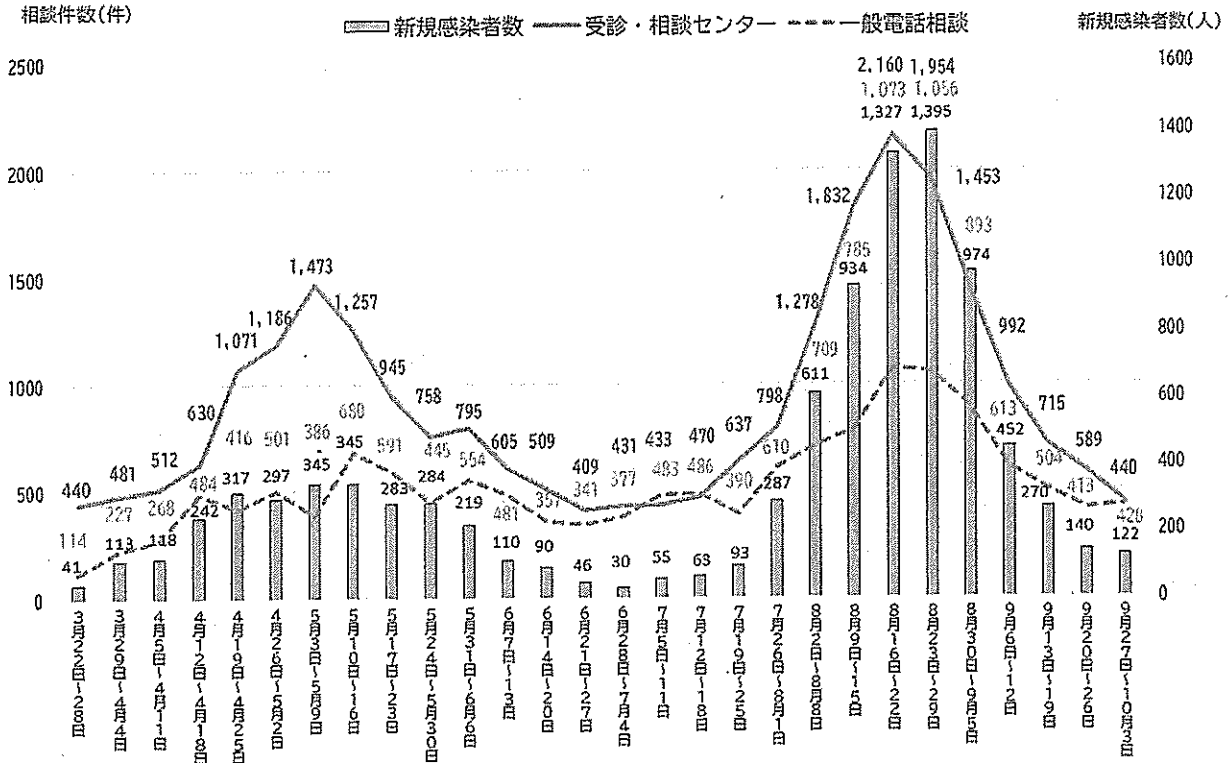
性別	陽性患者数
男性	6,361
女性	5,041
非公表(10歳未満)	903
計	12,305

10)市町別陽性者数



11) 相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）



12) 7月以降に発生したクラスターの状況

公表名	陽性者数	始期	公表名	陽性者数	始期
事業所①	6	7月3日	事業所①	31	8月21日
会食①	5	7月17日	文化・スポーツ活動①	9	8月25日
学校①	16	7月20日	事業所②	4	8月14日
保育関連施設②	7	7月29日	事業所②	228	8月25日
事業所③	6	8月1日	事業所③	68	8月23日
保育関連施設③	5	7月30日	事業所③	12	8月24日
学校②	13	8月5日	保育関連施設④	8	8月24日
事業所④	10	8月6日	事業所④	8	8月19日
事業所⑤	7	8月8日	事業所⑤	6	8月28日
保育関連施設④	40	8月10日	介護関連事業所⑤	13	8月30日
保育関連施設⑤	7	8月6日	保育関連施設⑥	14	8月27日
保育関連施設⑥	9	8月6日	保育関連施設⑦	6	8月29日
学校③	7	8月9日	事業所⑥	20	8月27日
介護関連事業所⑥	5	8月11日	事業所⑥	6	8月27日
学校④	7	8月11日	事業所⑦	5	9月4日
事業所⑦	6	8月11日	学校④	4	9月3日
事業所⑧	7	8月12日	事業所⑧	7	9月8日
事業所⑨	6	8月17日	事業所⑧	8	9月10日
事業所⑩	11	8月14日	事業所⑧	25	9月9日
事業所⑪	24	8月20日	保育関連施設⑧	11	9月12日
保育関連施設⑧	32	8月23日	事業所⑨	16	8月31日
事業所⑫	9	8月22日	医療機関⑤	6	9月16日
会食②	4	8月19日	保育関連施設⑨	6	9月22日
学校⑤	13	8月23日	学校⑤	5	9月17日
			保育関連施設⑩	5	9月29日

※県内において確認された陽性者数

新型コロナウイルスの特徴

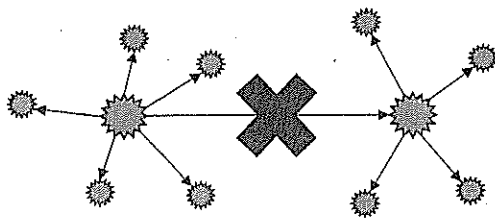
- 多くの事例で感染者は周囲の人にほとんど感染させていない
- その一方で、一部に特定の人から多くの人に感染が拡大したと疑われる事例が存在し、クラスターが発生している

対策の重点 = クラスタ対策

- クラスタ発生の際、早期に対策を講じることで、その後の感染拡大を遅らせる効果大きい

- ① 医師からの届出等
- ② 積極的疫学調査の実施
- ③ クラスタ対策としての感染拡大防止対策の実施

感染者の属性（家族構成、職業、所在地、行動履歴等）からクラスター発生の可能性を推測



対応が遅ればクラスターの連鎖を生み、大規模な感染拡大につながる。事態を収束させられるか、拡大につなげてしまうかの分かれ目。

県クラスター対策チームの概要

組織体制

- 健康医療福祉部 新型コロナウイルス感染症対策本部 感染症対策班の1つのチームとして設置 (R2.9.1)
(R2.8までは、情報・疫学統計チーム等の業務として対応)
- チーム員 8名 (FETP 1名、薬剤師 2名、保健師 3名、獣医師 2名)
* FETP(Field Epidemiology Training Program) 健康危機管理人材育成プログラム
全てのチーム員は他の業務(感染症対策課、衛生科学センター)との兼務

業務内容

- 保健所からの支援要請または感染症対策課の判断により出動
- 保健所への技術的指導・人的支援
- 国クラスター班との連絡調整および同班の指導助言を实践
- 施設の感染管理対応状況等の確認
- クラスタ発生状況の分析・まとめ

等継続的な支援

第5波におけるクラスター班派遣状況

	クラスター名	初めて感染者が確認された日	感染者数	クラスター班派遣日	延べ派遣人員
1	保育関連施設⑪	8月23日	32	9月2日	1
2	事業所⑳	8月25日	209	9月2日 6日	4
3	事業所㉑	8月23日	66	9月2日	1
4	介護関連事業所⑮	8月30日	13	9月3日 5日	4
5	医療機関⑮	9月16日	10	10月2日	2

クラスターの発生状況から得た課題・考察等（まとめ）

☆課題等

- ・ 密になる環境(狭い休憩室、集団での寝泊まり、催し等)が見受けられた。
- ・ 感染症窓口担当者、責任者が決まっていない。感染症対策のマニュアルがない。
- ・ 体調不良の者が確認されていたが、受診もしくは検査までに時間を要し、感染者の発見が遅れた。
- ・ 発生規模が大きく、事業者も全体像を把握できていなかった。
- ・ 効果が十分に確認されていない消毒剤(次亜塩素酸水)を主に使用していた。
- ・ ワクチン未接種の感染者が多く見受けられた。
- ・ 職員は、体調不良でも出勤しがちである。
- ・ 密接な接触を伴うケアの際に、目の防護などの十分な感染対策がされていない。

☆実施された改善等

- ・ 休憩室・食堂・更衣室:利用を時間差で行う。衝立の設置、向かい合わせに座らない。長椅子の撤去。十分に換気を行う。定期的な消毒を行うこととした。
- ・ 喫煙室の利用を禁止し、屋外で喫煙することとした。
- ・ 次亜塩素酸ナトリウムまたは消毒用アルコールを使用することとした。
- ・ 出勤時、従事者等の体調を確認し、体調不良者は帰宅させることとした。
- ・ 入所施設においては、清潔区域と汚染区域を明確にゾーニングを行い、感染対策の徹底を図った。
- ・ 事業所のクラスターに対しては、関係者の健康観察の強化、関係者の外出自粛(事業所外拡大防止)、濃厚接触者が存在しない環境構築(事業所内拡大防止)および関係者の家族への拡大防止などについて、助言した。

☆考察

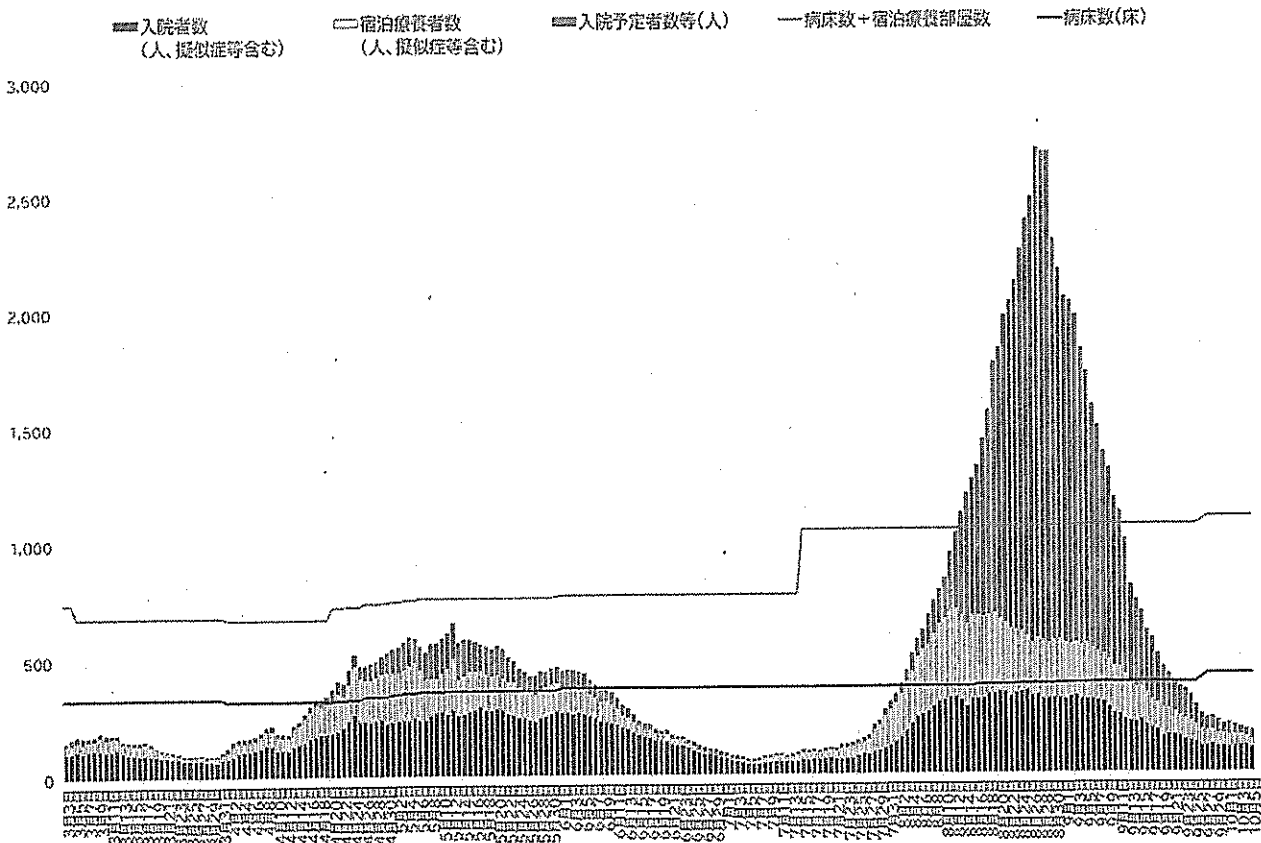
- ・ 事業所内の休憩室、更衣室等の環境改善や密集環境を避けた事業の実施、寮等における集団生活などこれまで県が注意喚起してきた内容を十分に取り入れてもらえていないことが明らかとなった。
- ・ 県民一人ひとりの行動がクラスター発生の抑制になることから、感染予防の基本を効果的に呼びかけ続ける必要がある。

13)変異株の発生状況

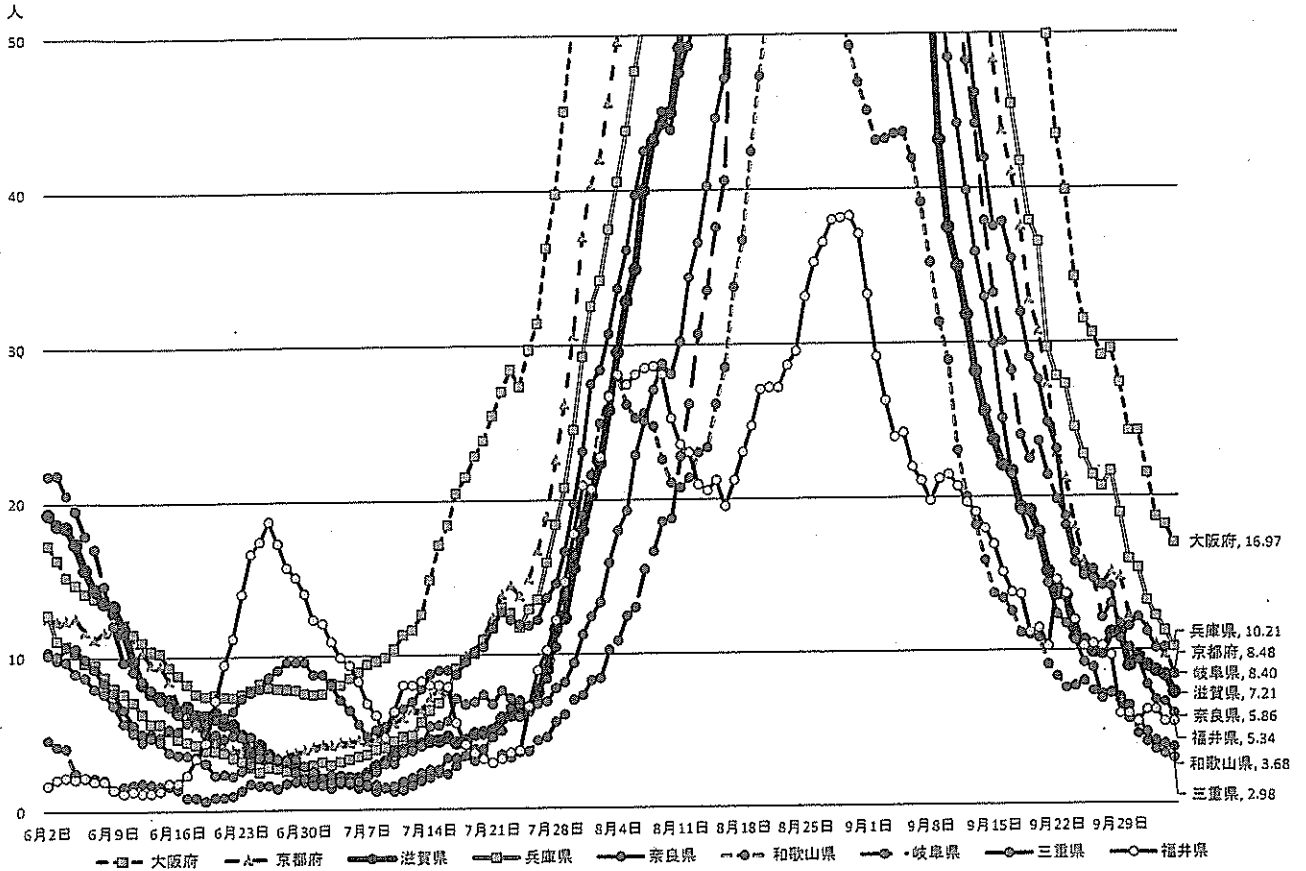
①変異株に関する検査状況

検査実施月	変異株PCR検査の検査件数	変異株PCR検査の陽性件数	変異株PCR検査の陽性者率
	L452R	L452R	L452R
6月	244件	0件	0.0%
7月	181件	45件	24.9%
8月	1555件	1281件	82.4%
9月	1646件	1418件	86.1%
10月	184件	154件	83.7%
計	3810件	2898件	76.1%

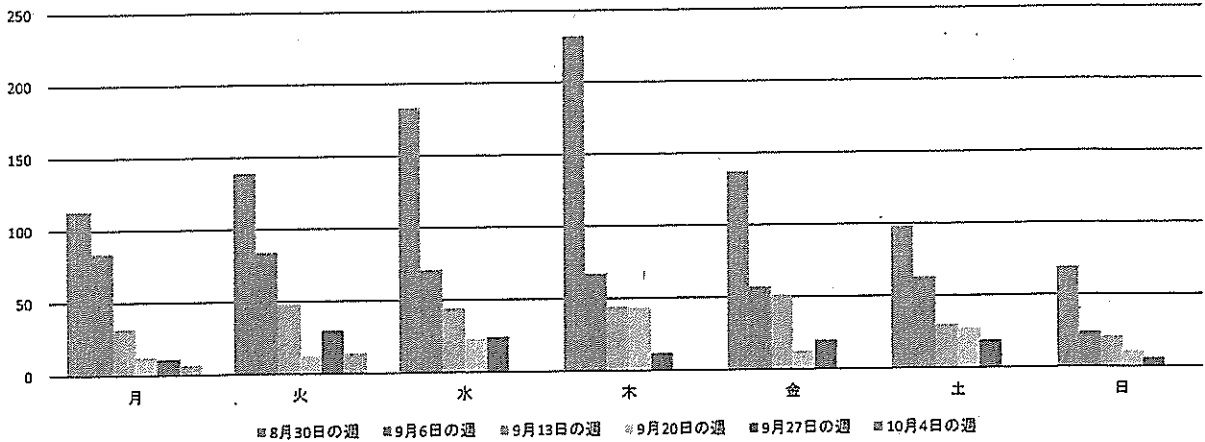
入院医療体制について



近隣府県の10万人当たりの新規感染者数の推移(直近7日間の累計患者数)(6/1-10/5)

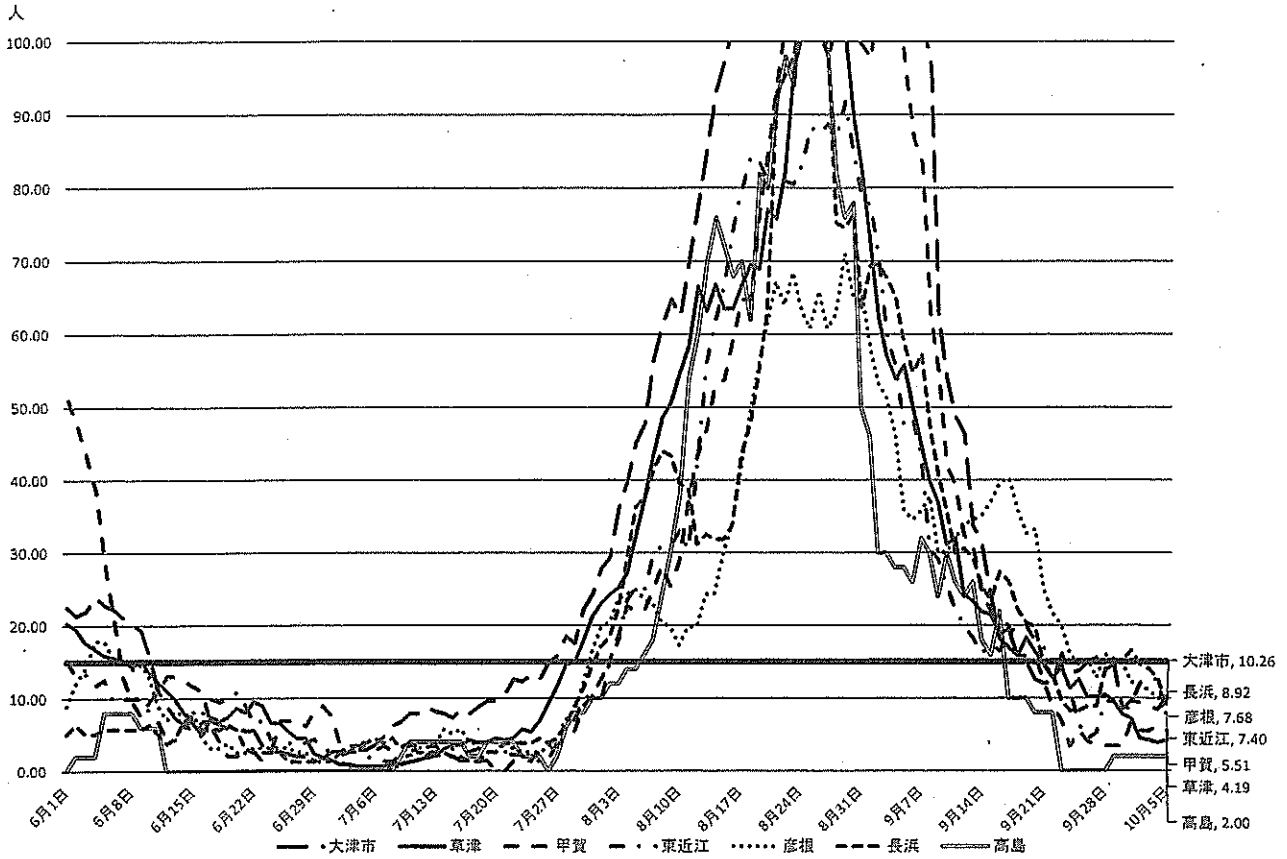


曜日ごとの新規陽性者数の推移

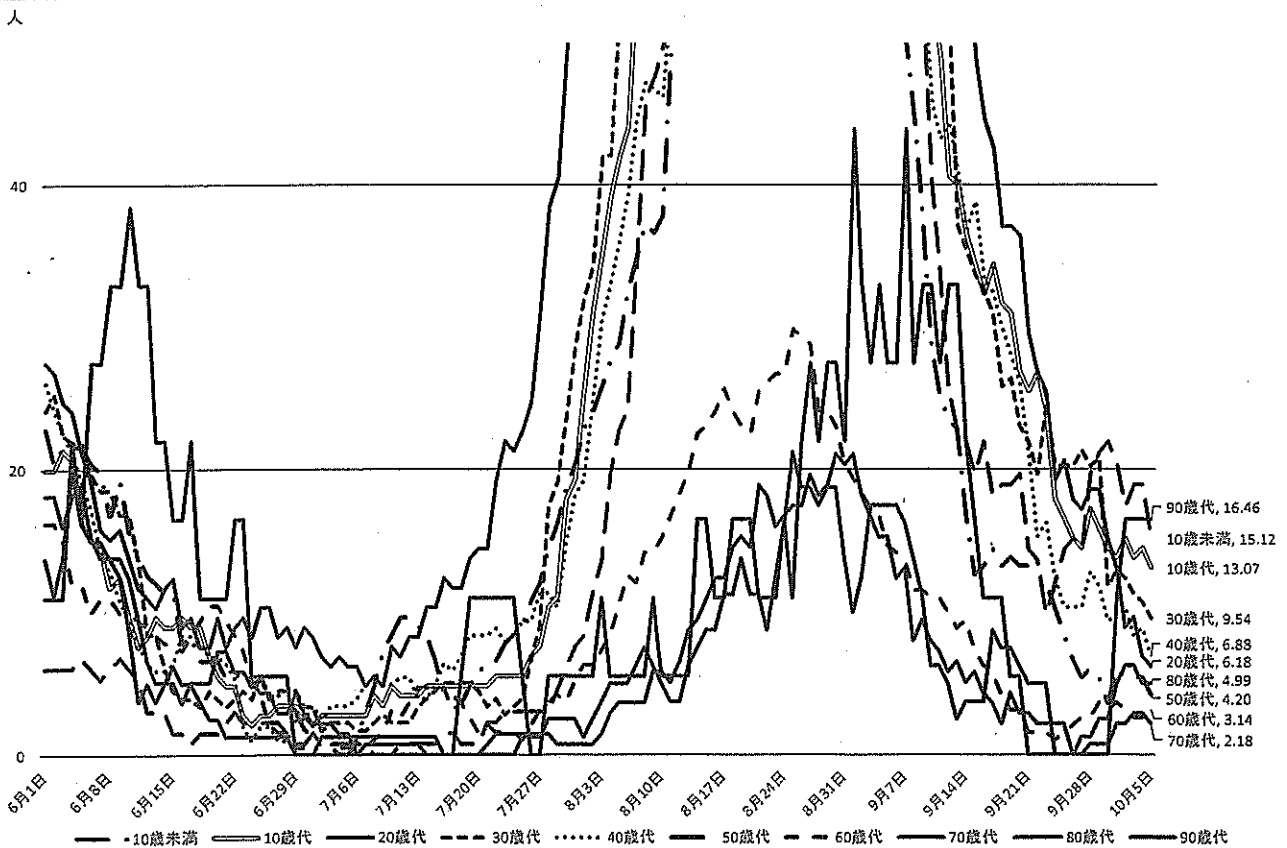


月	火	水	木	金	土	日	週合計	今週/先週比
9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	270	0.60
32	48	44	44	51	30	21		
9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	140	0.52
12	12	23	43	12	27	11		
9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	122	0.87
11	30	24	12	20	19	6		
10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10		
7	14							

保健所別10万人あたりの新規感染者数(直近7日間の累計患者数)
(6/1~10/5)日別・公表日



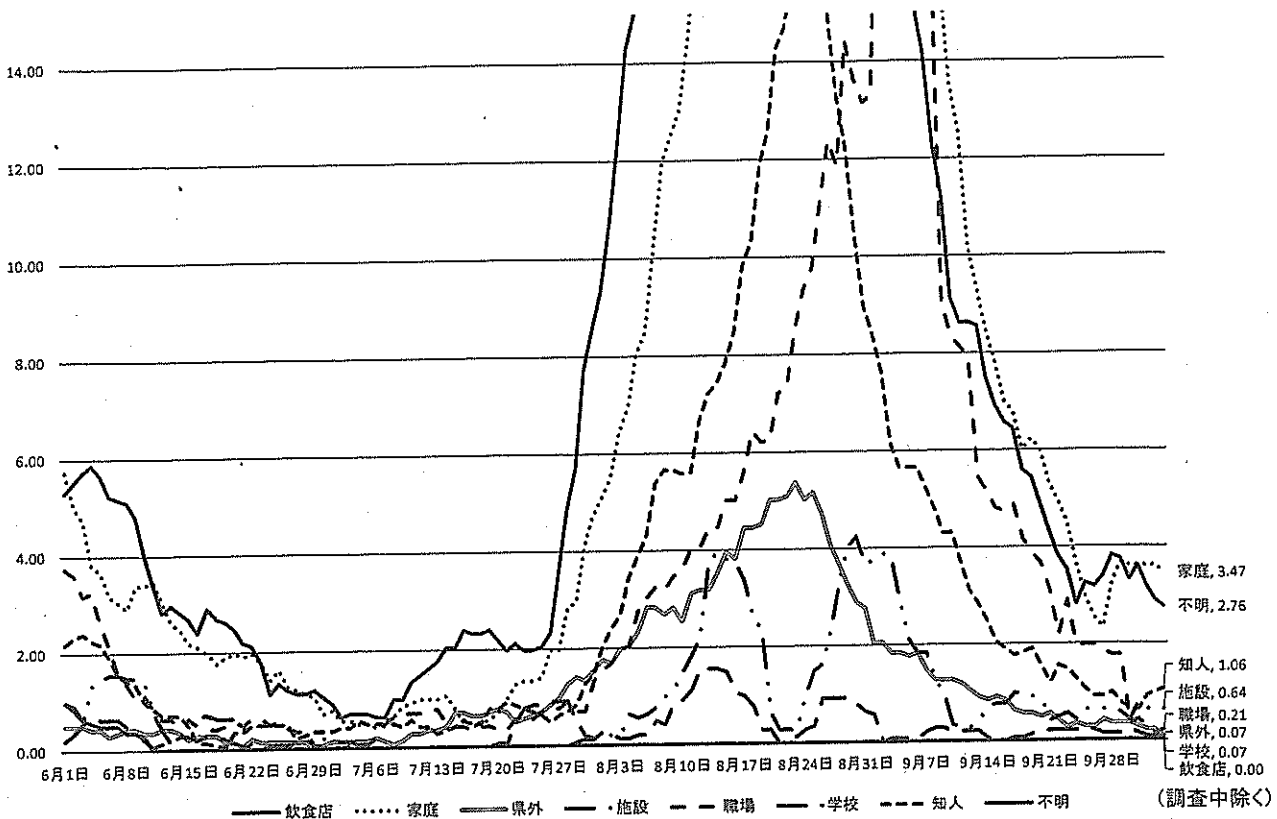
滋賀県 年代別10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数)
(6/1~10/5)日別・公表日



滋賀県 感染経路別の10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数) (6/1~10/4) 日別・公表日

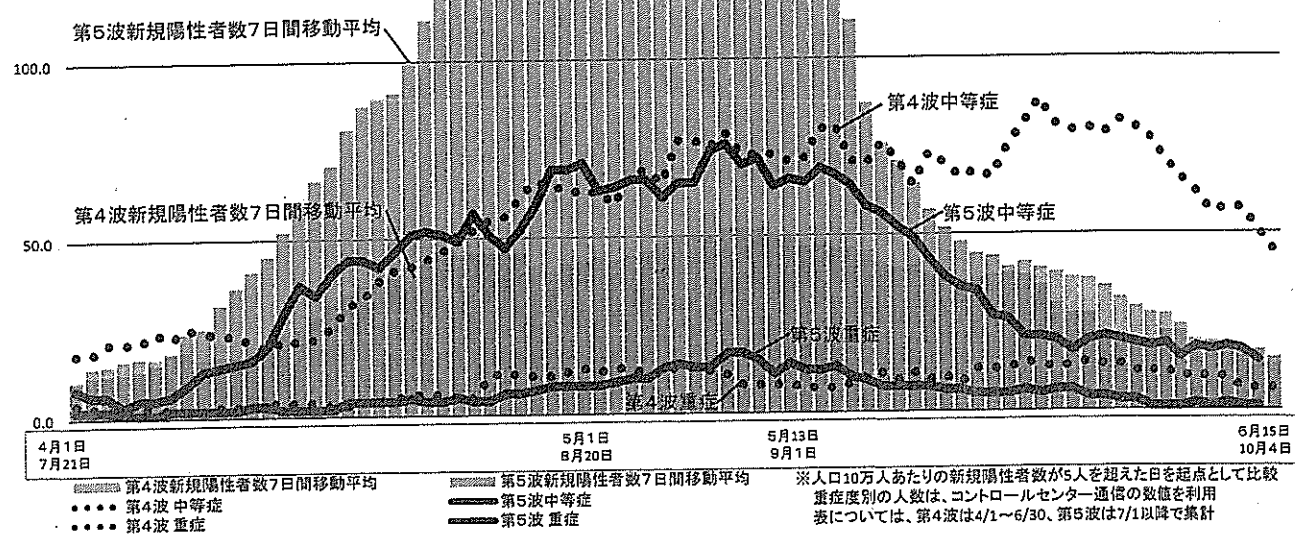
人

※直近は調査中が多いため10月4日までで集計



滋賀県 重症度別第4波との比較

年代	第4波			第5波(10/4)時点			年代	第4波			第5波(10/4)時点		
	感染者数(a)	中等症(b)	割合(b/a)	感染者数(a)	中等症(b)	割合(b/a)		感染者数(a)	重症(b)	割合(b/a)	感染者数(a)	重症(b)	割合(b/a)
10歳未満	120	3	2.5%	653	1	0.2%	10歳未満	120	0	0.0%	653	0	0.0%
10歳代	299	2	0.7%	1013	7	0.7%	10歳代	299	0	0.0%	1013	1	0.1%
20歳代	562	7	1.2%	1761	24	1.4%	20歳代	562	1	0.2%	1761	2	0.1%
30歳代	378	21	5.6%	1068	51	4.8%	30歳代	378	0	0.0%	1068	5	0.5%
40歳代	461	67	14.5%	1155	107	9.3%	40歳代	461	4	0.9%	1155	8	0.7%
50歳代	391	94	24.0%	714	87	12.2%	50歳代	391	8	2.0%	714	10	1.4%
60-64歳	136	36	26.5%	187	32	17.1%	60-64歳	136	7	5.1%	187	6	3.2%
65歳以上	502	223	44.4%	295	82	27.8%	65歳以上	502	45	9.0%	295	9	3.1%
合計	2,849	453	15.9%	6,846	391	5.7%	合計	2,849	65	2.3%	6,846	41	0.6%



評価

- 本県の先週の新規陽性者数（122人）は、先々週（140人）と比較し、0.87倍となり減少傾向が続いています。他府県の状況を見ても、ほぼ全ての府県で減少傾向が見られています。
- ステージ判断指標は、新規陽性者数が22日に、全療養者数が26日にステージIIの水準となりました。その他の指標についても、最大確保病床の使用率以外はステージIIの水準で推移しています。
- 保育関連施設や医療機関でのクラスターが確認されています。
- 新規陽性者数は減少傾向にありますが、増加傾向に転じると急増する可能性があります。水準ですので、できる限り新規陽性者数を減少させて、再流行する可能性をより低下させる必要があります。
- 個人においては、普段からの手洗い、会話時のマスク着用、換気や密の回避など基本的な感染対策を継続してください。また、「いつも一緒にいない方」との面会や会食時は、特に対策が緩まないように注意が必要な場面です。
- 学校、事業所や医療機関等においては、第4波および第5波の流行が始まった直後に新規患者数が急増したことを念頭に、10月は、対策の確認、業務継続計画および物資の在庫など次の流行に備えるための重要な時期となります。